

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年2月17日

事業所名 こどもくらぶ ガジュマ〜ル

保護者等数(児童数17名中 回収数16名 割合94%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	3	0		学習スペースと遊ぶスペースを分けています。今後も事業所内・外の活動の幅を拡げて支援していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	1		適切に配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	9	1		2階に上がる際の手段は構造上階段のみですが、手すりを設置しております。現段階ではスロープなどを必要とするお子様がおりませんが、必要に応じて検討していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16	0	0		子どもや保護者の思いに寄り添い、職員からの見た課題も踏まえながら計画作成を進めております。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1	0		今後も学習だけでなく自然体験活動、調理体験、季節行事、地域との関わり、SST等を組み合わせながら、固定化しないよう工夫してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9	3		コロナやインフルエンザなど交流の場面が難しい現状がありましたが、児童館での活動の際には居合わせた子ども達と一緒に活動する機会もあり、思いとしては障害のある、なしに関わらず一緒に活動していきたいと考えております。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0		利用開始時の説明を丁寧におこない、利用開始後にも利用者負担等ご不明な点があればその都度丁寧に対応しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1	0	できるとスタッフとそうでないスタッフがいるように感じる	日頃より、気になる事など送迎時やLINE連絡お電話などを活用してその日のお子さまの様子を保護者へお伝えし、保護者さまから気軽に相談してもらえるよう信頼関係を築くようにしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	0		必要に応じて面談をおこない、保護者の困り感を把握したり、お子様への接し方についてどのように進めていくか一緒に考えたり、必要に応じて助言しております

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	9		コロナの影響もあり保護者会が実施できていませんでしたが、保護者同士が交流できる機会を設けていきたいと考えています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	4	0		現段階では苦情は届いておりませんが、苦情が出た際には迅速に職員同士で共有・対応をおこない、苦情になる前に保護者様から相談してもらえるよう普段から関係性を築いていけるようがけております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0		今後も子ども達とは日々の中で伝わるような工夫と、LINEなどを活用しながら必要な情報を保護者さまと共有してまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	6	0		活動時の写真をLINEで保護者へ送り様子を見てもらう等、保護者への発信を継続してまいります。
	14	個人情報に十分注意しているか	11	5	0		個人情報を扱っていることを職員全員で共通認識し、細心の注意を払っております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	6	0	緊急・防犯がよくわからない。	今後は契約時などで丁寧に伝えていきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	6	0	定期的の間隔がどのくらいなのか、分からない。	消防訓練は半年に1回程度行っております。 地震・防犯訓練は2、3ヶ月に1回行っております(利用予定表に記載)
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	4	1	日によるが気分のムラが大きい。	お子様ひとり一人の取り巻く環境も違うため(特に平日)今後も気持ちのムラを理解し解決出来る方法をお子様へ寄り添い対応してまいります。今後も子どもたちが楽しみながら通所できるよう様々なプログラムを工夫し体験やイベント企画を考えてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	14	2	0	宿題までがんばって帰宅してくるようになって、夜に自由時間ができるようになり、安定しているように感じます。	1人1人の特性に寄り添って成長を支援していくとともに、利用者様や保護者様のニーズを受け止めながら支援を継続してまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に依って柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。